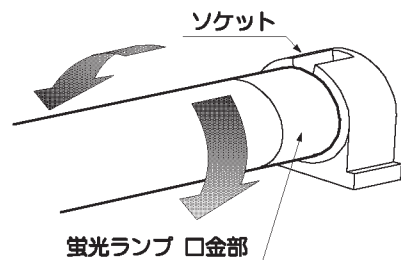
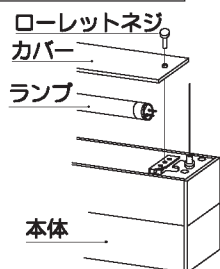


ランプ交換のしかた

△ 注意 必ず電源を切って約10分待ってから行ってください。
感電・やけどの原因になります。

適合ランプ **G5□金** (同梱ランプは屋白色です)
T5(16mm)管蛍光灯 FHF54W

- ローレットネジを外し、カバーを静かに取外してからランプ交換してください。
交換が終わりましたら、カバーをもと通り取付けます。
不備がありますと、**器具落下のおそれ**があります。
- 必ず上記の**適合ランプ**を使用してください。
誤って使用しますと、**火災・不点灯・器具の破損のおそれ**があります。



ソケットは回転式です。
90° ランプを回して着脱します。

※細い蛍光管につきランプのお取り扱いには、充分にご注意願います。

保守とお手入れ

△ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- 低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足（光束不足）を生じることがありますが、故障ではありません。
時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。
- ランプが寿命になると管端が黒くなったり、点滅をくりかえします。
早めにお取り替えください。

- ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
 - ・スイッチが入っているか？
 - ・ランプがソケットに確実にハマっているか？
 - ・ランプが切れていないか？

お 願 い

◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたないでください。
変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかな布で仕上げてください。
◇ぬれた手で器具に触らないでください。
◇ガラス・陶磁器類は、こわれやすい材料です。お取扱いの際には、両手で静かに行ってください。
◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。



アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

ヤマギワ
リビナ本館
東京営業部 〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号
TEL(03)3253-5111(代表)

外商営業本部 〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号
TEL(03)3253-5143(代表)

ヤマガワリビナ本館
札幌営業所 〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号
TEL(03)3253-5150(代表)

ピア2-1ビル7階
仙台営業所 〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西1丁目10番地
TEL(011)221-1321(代表)

第5タカノボルビル8階
横浜営業所 〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2丁目1番61号
TEL(022)227-1251(代表)

第5タカノボルビル8階
宇都宮出張所 〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6丁目89番1号
TEL(045)664-2871(代表)

尾上町スカイビル503
ヤマギワ
名古屋
名古屋営業所 〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目22番20号
TEL(052)931-2111(代表)

〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目22番20号
TEL(052)931-3223(代表)

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

近畿営業部 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2丁目9番8号
TEL(06)6258-6721(代表)

シモノ・住友生命ビル3階
金沢営業所 〒920-0901 石川県金沢市彦三町2丁目1番45号
TEL(076)222-6733(代表)

明治安田生命金沢第二ビル5階
高松営業所 〒760-542-00810062 香川県高松市塩上町3丁目8番11号
TEL(0878)39-3195(代表)

クリエイトビル302
広島営業所 〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里1丁目1番68号
TEL(082)568-5371(代表)

広島パレスビル2階
福岡営業所 〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号
TEL(092)721-5661(代表)

ORE福岡赤坂ビル7階
宇都宮出張所 〒321-0953 栃木県宇都宮市東荷郷6丁目7番16号
TEL(028)638-1002

マスマトータルビル2階
静岡出張所 〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町7番6号
TEL(054)273-5305

ローズガーデン406

0890

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書

FL LINE TYPE-I

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいますと誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目 次

- 1ページ : 照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
- 2ページ : 定格表・オプションパーツ・器具取付寸法
- 3ページ : 部品名称・器具の取付方法
- 4ページ : 器具の取付方法（つづき）
- 5ページ : オプションパーツの取付方法・照明器具ご使用についての安全上のご注意
- 6ページ : ランプ交換のしかた・保守とお手入れ・アフターサービス

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

△ 警 告



火災のおそれがあります

- ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
- ◇電源配線は、ランプ表面にふれないように取付けてください。

落下によるけがのおそれがあります

- ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
- ◇器具の取付は、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。
強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。

感電のおそれがあります

- ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
- ◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。
- ◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。



火災のおそれがあります

- ◇器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。



落下によるけがのおそれがあります

- ◇傾斜した天井や船底天井、及び取付部のまわりに極端な突出部のある天井に、器具を取付けしないでください。

△ 注 意

◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。

◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。

◇カバー・グレアレスルーバー・プリズムデフューザー及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは、確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。

◇この器具の安定器は、調光用に対応していません。調光器を使用しないでください。

火災の原因となります。

◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。

◇器具取付の際に、天井の化粧板が厚くて同梱のネジでは十分締め付けられない場合には、同じ径の長いネジをご使用ください。**器具落下によるけがの原因**となることがあります。

◇アース工事が必要な器具は、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。
感電・火災の原因となります。

お 願 い

電気工事店様へ

工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

部品名称

ワイヤー吊りフランジ（給電付き）
 エンド用：Z1099
 中間用：Z1121

ワイヤー吊りフランジ
 エンド用：Z1097
 中間用：Z1098

取付用ボルト

■別途施工■

取付用ナット
 +ワッシャー
 ■別途施工■

取付用ボルト

■別途施工■

取付ボックス

電源電線

取付用ナット
 +ワッシャー
 ■別途施工■

化粧板

固定金具

電源ケーブル
 ワイヤー

L形コネクター
 Z1100S・W

プリズムデフューザー
 Z1102

グレアスルーバー
 Z1101

吊り元板A

コードストッパー

電源送り線
 F-042S・W 中間用モジュールに同梱
 F-043S・W

カバー

ローレットネジ

化粧板

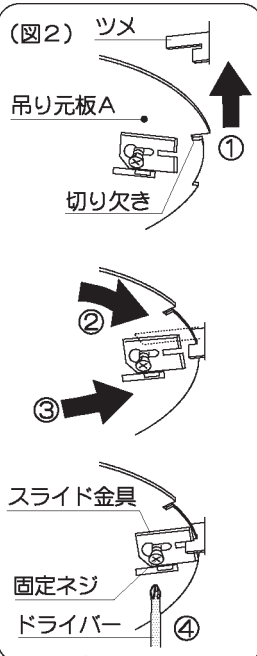
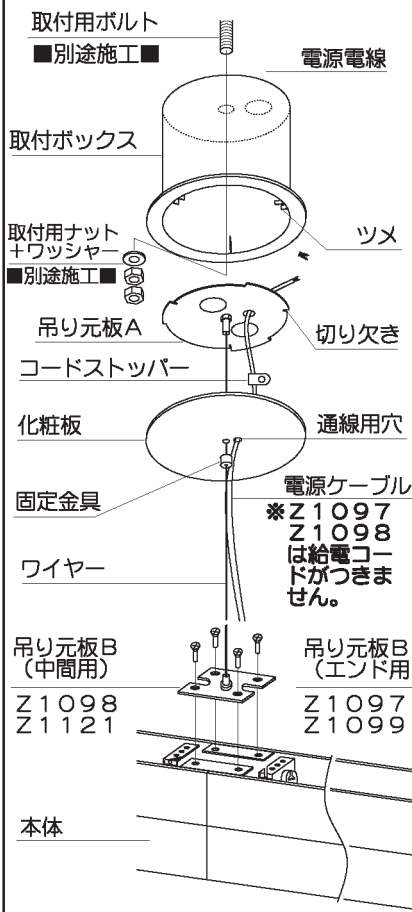
本体

ランプ

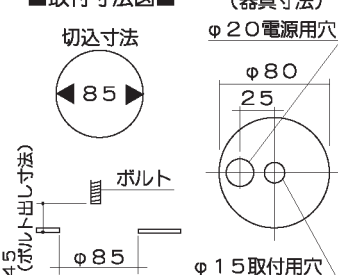
器具の取付方法

ワイヤー吊りフランジ（給電付き）：Z1099・Z1121の場合
 （Z1097・Z1098は給電コード無しタイプです）

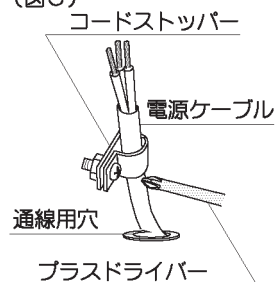
（図1）



■取付寸法図■



（図3）



【施工のまにに】

- 1回路につき10Aまでの電源送りが可能です。
- 100V給電の場合FHF54Wが16灯（上下合計灯数）
- 200V給電の場合FHF54Wが32灯（上下合計灯数）
- 構造上の連結数は1250・1650モジュールが8台まで。
- 2500モジュールが4台まで。これ以上の連結の場合は振れ止め等の施工が必要になりますので特注仕様にて別途ご相談ください。
- 取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにしてください。
- 不備がありますと器具落下の原因となります。
- 傾斜した天井には取付できません。

①ワイヤー吊りフランジを天井にとりつける（図1）

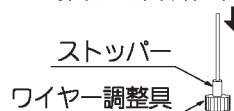
固定金具を外し、取付ボックスと化粧板・吊り元板Aを分離し、天井の取り付け場所の強度をご確認のうえ、2ページの【器具取付寸法】を参照して、適切な間隔を取って取付ボックスを取付用ボルト（別途）で天井に取り付けます。給電用フランジの場合は（図3）を参照して電源ケーブルをフランジ内部のコードストッパーを使用して脱落しないように止めた後、フランジ内部で電源電線と結線しておいてください。また、アース線も引き込み、フランジ内部で接続してください。この器具は、D種接地工事（第3種接地工事）が必要です。必ず電源を切って作業を開始してください。不備がありますと、感電の原因となります。

（図2）を参照し、フランジは給電用も非給電用も同様に①取付ボックスのツメに吊り元板Aの切り欠きに入れ、②時計回りに吊り元板Aを回転して③スライド金具をツメにスライドさせ、④固定ネジで締め付け固定させます。

ワイヤー調整方法

■ワイヤーを短く調整する場合

下図のようにワイヤー調整具にワイヤーを押込んでください。
この時、必ず器具本体は支えながら行ってください。



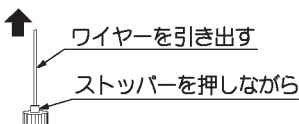
ストッパーを押さなくてもワイヤーが入り、戻らないようになっています。

■ワイヤーを長く調整する場合

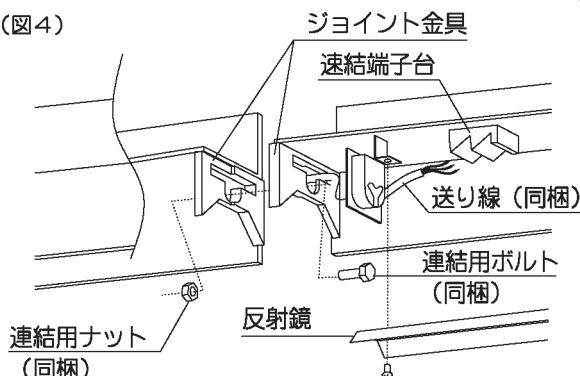
器具本体をしっかり支えながら、下図のようにワイヤー調整具のストッパーをゆるめて、器具の位置を下げるように調整してください。

△注意

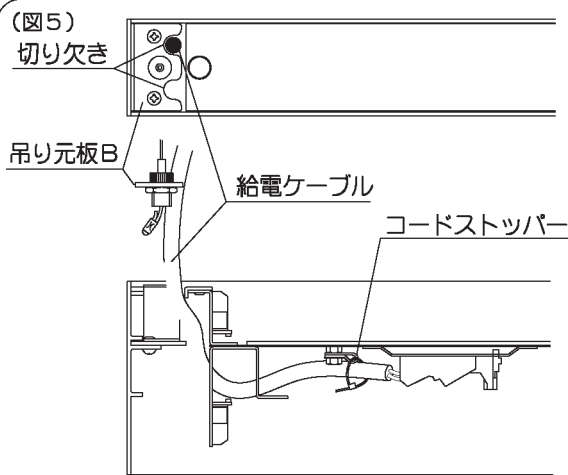
ストッパーを押し上げる間ワイヤーはロックされませんので器具の重さで一気に下がってしまいます。吊り長さを長くする時は必ず器具本体を支えながら調整を行ってください。



(図4)

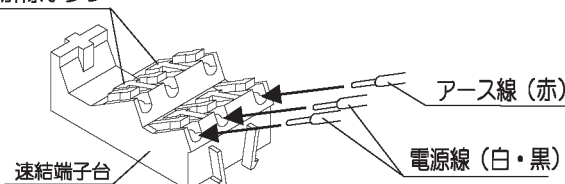


(図5)



(図6)

解除ボタン



適合電線は同梱のものを
使用してください。

矢印の方向に、止まるまでぐっと差し込んだあと、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。外すときは、解除ボタンをドライバー等で押込んで外してください。

②吊り元板B (ワイヤー) に本体を取り付ける (図1)

吊りワイヤーは、2ページの【器具取付寸法】を参照して、MAX1100mmの間で、器具を吊り上げる高さになるように調整します。不備がありますと、器具落下の原因となります。

左図のワイヤー調整方法を参照して、ワイヤーを調整し3ページの(図1)のように吊り元板Bを付属のネジで締め付け取付けます。不備がありますと、器具落下の原因となります。

③-1 本体を単体で取り付ける

(器具を単体で設置する場合のみ) ④の説明へ。

③-2 器具本体と本体を連結する

(複数の器具を連結して設置する場合のみ)

左図4を参照して連結してください。反射鏡を固定しているネジ(2本)を外し、反射鏡をとり、ジョイント金具を同梱の連結用ボルト・ナットで連結します。

本体と本体、本体とオプションの接続のいずれの場合にも、同梱のネジ・ナット等は指定本数を余さず使用して、確実に固定してください。なお、L形コネクターを使用する場合は5ページの【L形コネクターを使用する場合】を参照してください。器具を直接連結して本体間で電源の送りをする場合には必ず同梱の送り用電線を使用して連結する器具の端子台間に電源線とアース線を接続してください。

電源の送りをする場合は1回路につき10Aまでの接続が可能です。

100V給電の場合は

FHF54Wが16灯まで(上下合計灯数)

200V給電の場合は

FHF54Wが32灯まで(上下合計灯数)

の接続が可能です。

構造上の連結数は

1250・1650モジュールが8台まで。

2500モジュールが4台まで。

これ以上の連結の場合は振れ止め等の施工が必要になりますので、特注仕様にて別途ご相談ください。

また、(図6)に従い、速結端子台のアース端子にアース線を結線してください。

L形コネクターは同梱の専用送り電線を使用して電源線とアース線を接続してください。不備がありますと、感電や火災、器具落下・破損の原因となります。

④電源ケーブル線とアース線を端子台に接続する (図5) (図6)

吊り元板Bの切り欠きに給電ケーブルを通し、本体内部のコードストッパーに給電ケーブルを固定したうえで、速結端子台に電源コードの電源及びアース線の棒端子を接続します。不備がありますと火災・感電・不点灯の原因となります。

⑤ランプを取り付ける

6ページのランプ交換のしかたを参照して適合する蛍光ランプをお確かめのうえ、ソケットに取付けてください。

不備がありますと、感電や火災、不点灯の原因となります。



注意

必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。